

令和8年度

2学年

シラバス

令和8年度 シラバス

学年	クラス	教科(科目)	単位数				
2年	1・2・3・4・5・6	公民(公共)	2				
教科書		副教材					
詳述公共		最新図説公共					
学習の目標	1 社会的な事象に関する知識を身につけ、現代社会の様々な問題について理解を深める 2 人間としての在り方生き方について考える力を身につけさせる 3 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる						
評価の方法	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	・現代社会の基本的な問題と人間としての在り方生き方に関わる事柄や学び方を理解し、その知識を身につけている。	・現代社会の課題を見つけ、社会的事象を広い角度から考察し、社会の変化や様々な考え方をふまえて、公正に判断する。 ・資料や統計を収集し、その情報を主体的に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を様々な方法で表現する。	・現代社会の基本的問題事項に対する関心を高め、意欲的に課題を追求する。また、社会的事象を総合的に考え、人間としての在り方・生き方を主体的に考えようとする。				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第4章 民主国家における基本原理	1.人権保障の発展と民主政治の成立 2.国民主権と民主政治の発展	・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。	○		○
	5	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格	1.日本国憲法の成立 2.平和主義とわが国の安全 3.基本的人権の保障 4.人権の広がり	・憲法の下、適正な手続きに則り、法や基本に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停・解決することなどを通して権利や自由が保障、実現され、社会秩序が形成、維持されていくことについて理解している。	○	○	○
	6	第2章 日本の政治機構と政治参加	1.政治機構と国民生活 2.人権保障と裁判所 3.地方自治 4.選挙と政党 5.政治参加と世論	・政治参加と公正な世論形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。	○		○
第2学期	7	第1編 公共の原 第1章 社会を作る私たち	1.生涯における青年期の意義 2.青年期と自己形成の課題 3.職業生活と社会参加 4.現代社会と青年の生き方	・伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。	○	○	○
	9	第3章 現代の経済社会	1.経済社会の形成と変容 2.市場のしくみ 3.現代の企業 4.経済成長と景気変動 5.金融機関の働きと財政・租税	・財政や租税の役割、市場の機能と限界、金融の働きなど現実社会の事柄や課題を基に、自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていることについて理解している。	○		○
	10	第4章 経済活動のあり方と国民意識	1.日本経済の歩みと近年の課題 2.中小企業と農業 3.公害防止と環境保全 4.消費者問題 5.労働問題と雇用 6.社会保障	・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○
第3学期	1	第5章 国際政治の動向と課題	1.国際社会における政治と法 2.国家安全保障と国際連合 3.冷戦終結後の国際政治 4.軍備競争と軍備縮小 5.異なる人種・民族との共存 6.国際平和と日本	・相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や、戦後の国際政治の動向を概観し、現代の地域紛争、人権問題、軍縮問題等を理解している。	○	○	○
	2	第6章 国際経済の動向と課題 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	1.国際経済のしくみ 2.国際経済体制の変化 3.経済のグローバル化と金融危機 4.地域経済統合と新興国 5.ODAと経済協力	・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなど、世界経済がより緊密に結び付き、一国の経済政策や経済活動が他国に影響を与えることを理解しており、その中における我が国の役割について主体的に考察している。	○	○	○
	2	第2章 人間としてよく生きる	1.ギリシアの思想 2.宗教の教え 3.人間の尊重 4.人間の自由と尊厳 5.個人と社会 6.主体性の確立 7.他者の尊重 8.公正な社会	・持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自ら他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○
3	第3章 民主社会の倫理	1.人間の尊厳と平等 2.自由・権利と責任・義務	・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	

## 令和8年度 シラバス

学年	ク ラ ス	教 科 ( 科 目 )	単位数				
2年	1, 2, 3(文)	理科(化学基礎)	2				
教科書		副教材					
化学基礎 (啓林館)		センサー化学基礎(啓林館)					
学習の目標	化学的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。 1 化学の学習を通し、化学的なものの見方や考え方を身に付ける。 2 実験、観察を通して科学的に探究する能力を身に付ける。 3 化学を理解することによって自然や地球環境を尊重する意識と態度を身に付ける。						
評価の方法	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	序章 物質って何だろう		・物質がどのようにできていて、どんな性質をもっているかを学ぶ科目であることを意識する。	○		○
	5	第1部 物質の構成 第1章 物質の構成	第1節 純物質と混合物 第2節 物質とその成分 第3節 粒子の熱運動と物質の三態	・混合物と純物質の特徴が説明でき、混合物を純物質に分離する方法がわかる。	○	○	
		第2章 物質の構成粒子	第1節 原子の構造と電子配置 第2節 イオン 第3節 元素の周期表	・原子の構造を説明し、同位体・放射性同位体の意味がわかる。 ・元素の周期律、周期表を学習し、原子の電子配置や価電子の意味がわかる。	○	○	
		第3章 化学結合	第1節 イオン結合 第2節 共有結合 第3節 金属結合 第4節 物質の分類と融点	・イオンの生成とエネルギーの関係や組成式、イオン結晶の意味がわかる。 ・分子の形成や共有結合の意味がわかる。 ・金属結合を学習し、金属の特徴がわかる。	○		○
6	第2部 物質の変化 第1章 物質と化学反応式	第1節 原子量・分子量・式量 第2節 物質質量(mol) 第3節 化学反応式と化学変化の量的関係	・原子量の概念と、分子量・式量の扱いを理解できる。 ・物質質量の考え方(アボガドロ定数、物質の質量や体積等と物質質量の関係)を理解できる。	○	○		
	第2学期	9	第2章 酸と塩基	第1節 酸と塩基 第2節 水の電離とpH 第3節 酸・塩基の中和と塩	・酸と塩基の定義、電離度などが理解できる。 ・水素イオン濃度やpHに関する内容が理解できる。 ・中和反応における量的関係がわかる。	○	
10		第3章 酸化還元反応	第1節 酸化と還元	・酸化・還元の意味がわかる。	○	○	
11			第2節 酸化剤と還元剤 第3節 金属の酸化還元反応	・酸化還元反応式のつくり方を理解し、酸化還元滴定の意味がわかる。 ・金属のイオン化傾向を学習し、金属の反応性の違いが理解できる。	○	○	
第3学期	1	終章 化学が拓く世界	第4節 酸化還元反応の利用	・酸化還元反応を利用する金属の製錬や電池のしくみがわかる。	○	○	○
	2				○	○	○

## 令和8年度 シラバス

学年	クラス	教科(科目)	単位数				
2年	3, 4, 5, 6(理)	理科(化学基礎)	2				
教科書		副教材					
化学基礎(啓林館)		センサー化学基礎(啓林館)					
学習の目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。						
評価の方法	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第1部 物質の構成 第1章 物質の構成	第1節 純物質と混合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混合物と純物質の特徴が説明でき、混合物を純物質に分離する方法を理解する。</li> <li>・元素や同素体を理解し、構成元素の確認方法として炎色反応を実験する。</li> <li>・物質の三態を学び、構成粒子の熱運動や絶対温度の意味を理解する。</li> </ul>	○	○	
			第2節 物質とその成分				
	第3節 粒子の熱運動と物質の三態						
5	第2章 物質の構成粒子	第1節 原子の構造と電子配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子の構造や同位体について理解する。</li> <li>・元素の周期律、周期表を学習し、原子の電子配置や価電子の意味がわかる。</li> <li>・イオンの生成とエネルギーの関係を理解する。</li> <li>・分子の形成や共有結合の意味を理解する。</li> <li>・金属結合の仕組みと金属特有の特徴を理解する。</li> <li>・様々な物質を結晶の種類や化学結合によって分類することができる。</li> </ul>	○	○	○	
		第2節 イオン					
	第3節 元素の周期表						
	第4節 物質の分類と融点						
6	第2部 物質の変化 第1章 物質量と化学反応式	第1節 原子量・分子量・式量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子量の概念と、分子量・式量の扱いを理解できる。</li> <li>・物質量の考え方(アボガドロ定数、物質の質量や体積等と物質量の関係)を理解する。</li> <li>・物質量、濃度に関わる計算が確実にできる。</li> </ul>	○	○	○	
		第2節 物質量(mol)					
		第3節 化学反応式と化学変化の量的関係					
第2学期	9	第2章 酸と塩基	第1節 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸と塩基の定義、電離度などが理解できる。</li> <li>・水素イオン濃度やpHに関する内容が理解できる。</li> <li>・中和反応における量的関係がわかる。</li> <li>・酸化・還元の意味を理解する。</li> <li>・酸化還元反応式のつくり方を理解し、酸化還元滴定の意味がわかる。</li> <li>・金属のイオン化傾向を学習し、金属の反応性の違いが理解できる。</li> <li>・酸化還元反応を利用する金属の製錬や電池のしくみがわかる。</li> </ul>	○	○	○
			第2節 水の電離とpH				
	第3節 酸・塩基の中和と塩						
	10	第3章 酸化還元反応	第1節 酸化と還元				
第3節 金属の酸化還元反応							
第4節 酸化還元反応の利用							
第3学期							

# 令和8年度 2年体育シラバス

学年		クラス		教科(科目)		単位数		
2年 男子・女子		1～6		体育		2		
教科書				副教材				
現代高等保健体育(大修館書店)				ステップアップ高校スポーツ2025(大修館書店)				
学習の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</li> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</li> <li>・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</li> </ul>						
評価の方法		①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度				
		運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 ・実技テスト・知識テストなど	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 ・課題レポート・グループ活動の発言	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。 学習状況(意欲、態度、グループ活動等)の観察				
学習計画及び評価方法								
学期	月	時数	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
						①	②	③
第1学期	4	6	体づくり運動	集団行動 体力テストなど	体づくり運動 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。	○	○	○
	5	10			陸上競技			
	6	8	球技	球技(男子 サッカー) 女子 ラグビー)				
	7	2	体育理論	運動・スポーツの学び方	運動・スポーツの学び方 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。			
第2学期	9	4	球技	球技(男子 サッカー) 女子 ラグビー)	球技 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。	○	○	○
	10	10	(選択) 球技 武道	(選択) 球技(ソフトボール、 テニス) 武道(柔道)	武道 ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。 ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすることができる。			
	10	10	(選択) 球技 器械運動 ダンス	(選択) 球技(バドミントン・卓球) 器械運動(マット運動) ダンス(創作ダンス)	ダンス ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解している。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の動きや空間の使い方などで変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができる。 器械運動 ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。			
	11	10			器械運動 ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。			
	12	2	体育理論	運動・スポーツの学び方	体育理論 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。			
第3学期	1	8	球技	球技 (バスケットボール)	体育理論 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。	○	○	○
	2	8						
	3	2	体育理論	運動・スポーツの学び方				

令和年8度 2年保健 シラバス

学年	クラス	教科(科目)	単位数					
2	1~6	保健	1					
教科書		副教材						
現代高等保健(大修館書店)		図説現代高等保健(大修館書店) 現代高等保健体育ノート(大修館書店)						
学習の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							
評価の方法	① 知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。 ・定期考査、知識小テスト	② 思考・判断・表現 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。 ・定期考査、課題レポート、ノート内容	③ 主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。 ・学習状況(意欲、態度、グループ活動等)の観察、ノート内容					
学習計画及び評価方法								
学期	月	時数	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
						①	②	③
第1学期	4	2	生涯を通じる健康	ライフステージと健康	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	○	○	○
		1		思春期と健康	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	○	○	○
	5	2		性意識と性行動の選択	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	○	○	○
		2		妊娠・出産と健康	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	○	○	○
	6	2		避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	○	○	○
		2		結婚生活と健康	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	○	○	○
	7	1		中高年期と健康	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	○	○	○
	1	働くことと健康	・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	○	○	○		
第2学期	9	2	健康を支える環境づくり	労働災害と健康	・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。	○	○	○
		2		健康的な職業生活	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	○	○	○
	10	2		大気汚染と健康	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気、水、土壌にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。	○	○	○
		2		水質汚濁、土壌汚染と健康	・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	○	○	○
	11	2		環境と健康にかかわる対策	・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。	○	○	○
		2		ごみの処理と上下水道の整備	・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。	○	○	○
	12	1		食品の安全性	・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。	○	○	○
第3学期		1	食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。	○	○	○	
	1	2	保健サービスとその活用	・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。	○	○	○	
		1	医療サービスとその活用	・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。	○	○	○	
	2	2	医薬品の制度とその活用	・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	○	○	○	
		2	さまざまな保健活動や社会的対策	・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。	○	○	○	
3	1	健康に関する環境づくりと社会参加	・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	○	○	○		

## 令和8年度 シラバス

学年	クラス	教科(科目)	単位数				
2	1~6	情報(情報I)	2				
教科書		副教材					
「高校情報I 新訂版」(実教出版)		高校情報I 新訂版 学習ノート(実教出版)					
学習の目標	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め、その技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深める。 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための態度を養うとともにその資質・能力の育成を目指す。						
評価の方法	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人の関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守るうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第2章 コミュニケーションと情報デザイン	08 情報デザイン	・情報デザインの意味、視覚的な表現の工夫、情報の構造化や抽象化、ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・コミュニケーションの形態の分類、コミュニケーションの手段の変遷について学ぶ。	○	○	○
			07 コミュニケーションとメディア		○	○	○
	5	第1章 情報とメディア	01 情報とメディア	・情報の特徴、定義と分類、メディアの特性について学ぶ。	○	○	○
			02 情報技術による社会の変化	・情報社会やAIについて学ぶ。	○	○	○
			03 問題の発見と解決	・問題解決の考え方、手順、他者との共有について学ぶ。	○	○	○
			06 情報に関する法規	・法規による安全対策について学ぶ。	○	○	○
			07 情報セキュリティ	・情報セキュリティについて有害情報の対策について学ぶ。	○	○	○
6	第2章 コミュニケーションと情報デザイン	05 個人情報	・個人情報の活用、取り扱い方について学ぶ。	○	○	○	
		06 知的財産	・知的財産権、産業財産権、著作権について学ぶ。	○	○	○	
第2学期	6	第2章 コミュニケーションと情報デザイン	11 アナログとデジタル	・アナログ、デジタル、デジタルデータの特徴や情報量およびその単位について理解する。	○	○	○
			12 情報のデジタル化	・文字と文字コードの関係や音のデジタル化、画像のデジタル化の仕組みについて適切に表現できる。	○	○	○
			13 データの圧縮	・圧縮の種類や形式、仕組みについて学ぶ。	○	○	○
	7	第4章 コンピュータの仕組み	15 2進数の計算	・2進数で表された数値の計算について負の数や実数について学ぶ。	○	○	○
			14 ハードウェアとソフトウェア	・OSの機能についてやコンピュータ内部の動作について学ぶ。	○	○	○
			16 論理回路と論理演算	・基本論理回路を理化学し、組み合わせ回路の真理値表を適切に表現できる。	○	○	○
			17 コンピュータの構成と動作 18 コンピュータの性能	・CPUの構成や命令実行の流れを理解している。 ・クロック周波数については演算誤差について学ぶ。	○	○	○
10	第6章 データの活用	35 データの種類と扱い	・データの収集、整理について学ぶ。	○	○	○	
		36 データの収集と整理	・表計算ソフトウェアの関数の利用、データの可視化、並べ替えや抽出について学ぶ。	○	○	○	
		37 データの分析	・統計量や尺d水準について学び、ヒストグラムや箱ひげ図によるデータ分析について学ぶ。	○	○	○	
		24 モデル化とシミュレーション	・モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解し、簡単な確率的モデルや確率的モデルのモデル化やシミュレーションを行い、その結果から考察できる。	○	○	○	
		25 確率的モデルのシミュレーション		○	○	○	
11	第4章 プログラミングとシミュレーション	26 確率的モデルのシミュレーション		○	○	○	
		19 アルゴリズムとプログラミング	・プログラミングの流れについて学ぶ。	○	○	○	
		20 プログラミングの基本	・プログラムの基本構造やプログラム作成上の基本ルールについて学び、演算子や変数について理解する。	○	○	○	
		21 関数	・関数の機能、関数の定義と呼び出す方法について学ぶ。	○	○	○	
1		22 探索のアルゴリズム	・線形探索、二分探索を理解し、探索のプログラムの作成に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	
		23 整列のアルゴリズム	・交換法、選択法について理解し、整列のプログラムの作成に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	
		27 ネットワークとプロトコル	・LANとWAN、分散処理と連処理、サーバの利用、プロトコルについて学ぶ。	○	○	○	
第3学期	2	第5章 ネットワークと情報システム	28 インターネットの仕組み	・IPアドレス、ドメイン名と名前解決について学ぶ。	○	○	○
			29 Webページの閲覧と電子メールの送受信	・Webページ閲覧、メールの送受信の仕組みについて学ぶ。	○	○	○
			30 ネットワークセキュリティ	・安全にインターネットを利用するための知識と技術を身に付ける。	○	○	○
			31 安全のための情報技術	・暗号化、デジタル署名、電子認証について理解する。	○	○	○
			32 情報システム	・身のまわりの情報システムについて学ぶ。	○	○	○
			33 情報システムを支えるサービスや技術	・情報システムを支えるサービスや技術について簡単にその機能を説明することができる。	○	○	○
			34 データベース	・リレーショナルデータベースの特徴について学ぶ。	○	○	○